静岡市

報道資料

（2026年11月18日発表）

11月24日　福祉の視点から考える避難所運営講座を開催

静岡市は、11月24日（火）に、「福祉の視点から考える避難所運営講座」を開催します。自主防災会、福祉・医療関係者、行政職員などが参加し、災害時に配慮や支援を必要とする方への支援や被災地での実践事例を学び、地域で実践できる避難所運営について考えます。

【趣旨・背景】

・災害時の避難所には、高齢者や障がいのある方、乳幼児、妊産婦、傷病者、外国人など、避難生活を送る上でさまざまな配慮や支援を必要とする方も避難します。誰もが安心して避難生活を送るためには、避難所運営に福祉の視点を取り入れ、地域や福祉・医療関係者、行政などが連携して支援に取り組むことが重要です。

・静岡市では、「静岡市地域防災計画」に基づき、避難所の生活環境の向上と、災害時に地域で支え合える要配慮者支援体制の充実に取り組んでいます。本講座は、こうした取組を地域で実践できる避難所運営につなげるため、静岡市と特定非営利活動法人静岡市障害者協会が開催します。

【講座の概要】

日時：2026 年 11 月24日（火）14時～16時30分

会場：清水ふれあいホール（静岡市清水区旭町6番8号、静岡市役所清水庁舎3階）

内容：①災害福祉と避難所運営の基本、②要配慮者支援の考え方、③被災地における実践事例、
④地域で取り組む避難所運営

講師：一般社団法人福祉防災コミュニティ協会　高橋　洋（たかはし　ひろし）氏

参加者：自主防災会・災害ボランティア関係者、福祉・医療関係者、行政職員など　約100人
※申込受付は終了しています。

【取材について】

・事前連絡は不要です。当日、直接会場にお越しください。

・報道機関用駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

危機管理局　危機管理課（静岡庁舎新館3階）　担当：長島、岩川　電話：054-221-1236